

「ちよつとお！自宅には来ないでって 言ったでしょ！」

「センパイの両親、旅行に出かけていて、いまいないですよね？」

「なんで知ってるの！」

「だから、今日泊めてもらいますね」

「いやよ！！帰って！」

「そんなこと言って、いいんですか？」

「！ うう……」

「へへ…3田の我慢ですよ」

「そんなあ！」

「ところでセンパイはこんな格好で荷物の受け取りとかに出てるんですか？」

「え？ そうだけど…」

「やばいですよー！」んな巨乳を強調したエロい格好で出たら、襲われますよ！」

「ええ？ そつかな…。そ…うね、

気をつけなきや…。

ななせ先輩の部屋

「さっそくおっぱいを見せてもらいましょうか」

「いやっ！」

「センパイが嫌がれば嫌がるほど興奮しちゃうなあw」

「変態！サディスト！」

「ちょっと乱暴にしていいですか？」

「へへへ……w」



「うう…。…」う?

「むほー！やつぱすげえ！」

「もういいでしょ？」

「次はそのままブラをとつて下さい」

「・・・・・」

「はやく！ はあはあ」

「まつて！ 落ち着いて！ ちゃんと見せてあげるから…」

「脱一げ！脱一げ！」

「ん…」

「ななせ先輩のなま巨乳でたあ！」

「んつ・・・・・・・」

「むほほほ！」

「私がこんなことしてるの絶対にばらしちやダメだからね！」

「わかつてますよ！二人だけのヒミツですw

「・・・・・」

(サイテー！。こんなのが
ばれたら学校に行けなくなっちゃう)
「どうしたんですか！はやく！はやく！」
「あわてないで！」

「全男子生徒が憧れるななせ先輩のなま巨乳を好きにできるなんて！」
「ほんとほんとに誰にも言っちゃダメよ！…」



「手ブラえろつ！ 手からはみ出ちゃってる！」

「うう……」

「チンポはさみて～～！」

「もうやだ～」

「このまま谷間にチンポを
挿入していいですか！」

「ダメに決まってるでしょ！」

「じゃあチンポこすりつけていい？」

「やだあ！ いい加減にして！」

「じゃあはやく手をとつて！」

「サイテー！」

「へへへw」



「うほおー！ななせ先輩のエロ乳すげえ！」

「エロ乳つて……」

もういいでしょ！」

「何言つてんですか。これからそのエロ乳を味わい尽くすんですよ。

ぐへへ：w

「ひつ！」

「おらあ！！！」

「きやあ！はなして！！」

やめてえ！！！！

「うひよー揉みごこち最高ー！」

手に吸い付いてくる！あつたけうう！」

「んつ！いやつ！ん、んん！♥」

「んうんうんうんつんつ」

ちゅぱちゅぱ

「あつ♥んあつ♥だめっ！♥…んふつ♥…だめだつて…んつ♥…」





「ハアハア：なんで中で出すの： 外に出してって言ったでしょ！」

「だってセンパイがキュンキュン締め付けてチンポ絞つて
中で射精させようとしたから・・」

「やだあ！もうー！あんたが何度も

腰を打ち付けてきて犯してきたくせに！」

「学校で中出しセックスしている

カップルいるかなあ？ w

「私たち付き合つてないから！
もお：どうするのこれ……」

「ぼく責任とりますから w ぐふふ w

「ふ、ふざけないで！誰があんたなんかと…」

「1回中に出しちゃったら、

何回出しても同じっしょ w

「同じじやない！ばか！」

「僕たちの愛の証がセンパイのマンコから
流れ出でますよ w

「！！！きやあ！見ないで！！！」

「センパイの両親が帰つてくるまで

センパイの部屋に泊まらせてもらいますね。

センパイのベッドで一緒に寝ましょうね w

いっぱい子づくりセックスしましょうね w

「やだ！やだ！やだあ！！！」

そんで



「ハアハア：なんで中で出すの：外に出してって言ったでしょ！」

「だってセンパイがキュンキュン締め付けてチンポ絞つて
中で射精させようとしたから・・」

「やだあ！もうー！あんたが何度も

腰を打ち付けてきて犯してきたくせに！」

「学校で中出しセックスしている

カップルいるかなあ？w

「私たち付き合ってないから！
もお：どうするのこれ……」

「ぼく責任とりますからw ぐふふw

「ふ、ふざけないで！誰があんたなんかと…」

「1回中に出しちゃったら、
何回出しても同じっしょw」

「同じじやない！ばか！」

「僕たちの愛の証がセンパイのマンコから
流れ出でますよw」

「！！！きやあ！見ないで！！！」

「センパイの両親が帰つてくるまで
センパイの部屋に泊まらせてもらいいますね。
センパイのベッドで一緒に寝ましょうねw
いっぱい子づくりセックスしましょうねw

「やだ！やだ！やだあ！！！」

そんで

















